

1 基本コンセプト (案)

	南青山			銀座・日本橋エリア
	コワーキングスペース	飲食スペース (コワーキングスペース1階)	飲食店 (現望洋楼)	新アンテナショップ
施設の位置づけ	南青山と福井の融合による”県内中小企業の新たなビジネス展開”と”食によるブランド発信”の拠点			ふくいのモノ、コト等を入口に、”県内企業の販路”と”ふくいファンの裾野”を拡大するアンテナショップ
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> クリエイティブ企業とのコラボにより、福井や県内企業の新たな価値を誘発 	<ul style="list-style-type: none"> カジュアルに食事を楽しんでもらう中で”ふくい”を記憶に積み重ね 	<ul style="list-style-type: none"> ”隠れ家的”飲食店で上質な食を提供することで、福井の食の魅力・価値を向上 	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた生活スタイルを好んだり、地方の商品に関心がある女性、ビジネスパーソン 新たな商品を求める首都圏企業・バイヤー
主な展開	<ul style="list-style-type: none"> 南青山の洗練されたイメージにマッチし、ターゲット層が魅力的に感じる内装、利用しやすい設備 入居企業間のビジネスマッチングや人脈拡大につながるサポート機能(ハード・ソフト両面)を充実 (例) <ul style="list-style-type: none"> 交流ラウンジやWEB会議スペース 交流セミナーや県内企業プレゼン 交流を生み出すサポート人材の配置 等 施設の利用だけでなく、首都圏企業の福井での活動を支援。福井で活動する県内企業とのコラボに拡大 	<ul style="list-style-type: none"> グラッセリアの雰囲気に合わせて、気楽に入りたくなる小洒落た演出 福井の食材を使い、オリジナリティある「ちょっと良いもの」を月に何度も通える価格で提供 (例) <ul style="list-style-type: none"> いちほまれと福井の食材のおにぎり 福井の食材を使ったパスタ、スイーツ 等 食材等を販売したり、一部を交流ラウンジ(小規模イベントも実施可能)としても利用し、ビジネスチャンス拡大にも貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 福井の旬な食材を使用しながら、良質で本格的なメニューを提供 内装や什器に県産品を使用しつつも、南青山に溶け込む魅力的な店舗展開(福井を前面に出さず、「実は福井の店」という展開) 若干高額でも、ふくいブランドとしての価値を高める料理・サービス 	<ul style="list-style-type: none"> ふらっと立ち寄れて、興味をそそる商品を探す“わくわく感”を提供。店舗・商品等の魅力から”いつの間にかふくいファン”“〇〇と言えば福井”という展開 エリア特性やターゲットに合い、フックとなる食品(イートインあり)や生活雑貨(クラフト)を販売 店舗内だけでなく、積極的に外販や企業・バイヤーへの売込みにも取り組む拠点として活動 観光移住情報は店のイメージと異なる専用スペースは設けず、内装とあったラック等で提供(関心をもったら気軽にソファでスタッフに相談)

(※) コワーキングスペースとは、シェアオフィスの機能(個室・フリーデスクの提供)に加え、利用者間の交流を促す機能を持つもの

(※) 銀座・日本橋エリアに隣接するエリアを含む

2 南青山のレイアウトイメージ (案)

【1階】



【2階】



(※) 現時点のイメージであり、今後、事業者からの企画提案内容によって変更

3 当面の概略スケジュール (案)

- 3年2月～ 新アンテナショップ物件の公募(銀座・日本橋)
不動産業者等から広く募集(期限は設けず、随時募集)
面積: 400㎡程度(うち物販エリア: 200㎡程度)
物販エリアは人通りが多く間口が広い路面1階
- 3年春頃 運営事業者の公募(青山、銀座・日本橋)
上記新物件が決定次第速やかに着手
- 3年夏頃～ 運営事業者の提案を踏まえ、施設内装等の設計(青山、銀座・日本橋)
施工: 青山 4年春から着手
銀座・日本橋 設計終了後速やかに着手
- 4年3月 現在の2施設を閉館(ふくい南青山291は令和3年8月から延長)
- 4年春頃 新アンテナショップ(銀座・日本橋)をオープン
- 4年秋頃 コワーキングスペース(青山)をオープン

(※) 新アンテナショップ物件の決定状況等により変更する可能性あり